

令和4年度の主な事業報告

社会福祉法人多聞福祉会

令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）事業につき、
その概要を以下のとおりご報告いたします。

【法人本部】

I. 法人事業の沿革

(1) 彌栄苑グループホーム事業の廃止

- 令和4年 6月25日 彌栄苑グループホーム廃止について県に財産（補助金）処分の申請
令和4年 8月17日 平成13年度社会福祉施設等施設整備費負担金（補助金）財産処分
承認通知書 到達
令和4年 8月24日 国庫補助金返還額 ￥17,234,041 納付
令和4年 9月30日 福岡県介護保険広域連合に廃止届を提出

(2) 定款の変更

- 令和4年10月18日認可 事業廃止による（目的）及び（資産の区分）の条文削除
令和4年10月27日 （目的及び業務）について登記の変更申請
令和4年11月 7日 登記の完了

(3) 規程の変更

- 令和4年 6月 1日施行 「運営規程」変更（特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・
デイサービスセンター・ユニット型特別養護老人ホーム）
令和4年10月 1日施行 「就業規則」一部改正
「給与・賞与規程」一部改正
「育児・介護休業等規程」一部改正
令和5年 4月 1日施行 「給与・賞与規程」一部改正

(4) 役員会

理事会

第1回開催日 令和4年 6月 8日（土）

（決議事項）

- 第1号議案 令和3年度事業報告（案）及び令和3年度決算報告（案）承認の件
第2号議案 「経理規程」「運営規程」について変更承認の件
第3号議案 定款変更について承認の件
第4号議案 役員等賠償責任保険契約について
第5号議案 令和4年度定時評議員会の招集の件

（報告事項）

- ・職務執行状況の報告
- ・社会福祉充実残額について

第2回開催日 令和4年10月28日(金)

(決議事項)

- 第1号議案 「就業規則」一部条文変更について
- 「育児・介護休業等規程」の一部改正について
- 「給与・賞与規程」の一部改正について

第2号議案 福岡県介護福祉士修学資金の連帯保証人に係る事項について

第3号議案 介護職員の宿舍施設整備事業について

(報告事項)

- ・職務執行状況の報告

第3回開催日 令和5年3月23日(木)

(決議事項)

第1号議案 令和4年度 補正予算(案)について承認の件

第2号議案 令和5年度 事業計画(案)について承認の件

第3号議案 令和5年度 収支予算(案)について承認の件

第4号議案 「給与・賞与規程」条文削除及び変更について承認の件

第5号議案 欠員に伴う新監事の推薦について承認の件

第6号議案 評議員会の招集について

(報告事項)

- ・職務執行状況の報告

評議員会

定時評議員会開催日 令和4年6月22日(水)

(決議事項)

第1号議案 令和3年度計算書類及び財産目録について承認の件

第2号議案 定款変更について承認の件

(報告事項)

- ・令和3年度事業報告の件
- ・社会福祉充実残額についての報告

決議の省略について提案書送付 令和5年3月30日

(決議事項)

第1号議案 監事1名選任の件

(決議日)

令和5年4月7日 評議員全員の同意書到達

監事会

開催日 令和4年5月30日(木)

令和3年度の理事の業務執行の状況及び法人の財産状況についての監査

(5) 社会福祉法人指導監査

令和5年2月1日(水)実施

福岡県保健医療介護部 介護保険課 監査指導第一係より職員1名来苑

指導監査の結果について 令和5年3月31日到達

是正改善結果報告について 令和5年度第1回理事会において審議予定

(6) 地域との交流

- ・斗和保育園 令和4年12月23日(金)クリスマス会に慰問

(7) 防災訓練

- ・ユニット型特養 夜間出火想定(総合訓練) 令和4年7月27日実施
- ・デイサービス 日中出火想定(総合訓練) 令和4年11月30日実施
- ・特養 夜間出火想定(総合訓練) 令和5年3月22日実施

(8) 研修

- ・事業継続計画(BCP)策定支援研修(オンライン研修)
令和4年11月 県社協 地域福祉部 災害福祉支援センター主催
令和5年2月 // //
- ・感染対策におけるBCPの作成のための集団研修(オンライン研修)
令和5年1月 厚生労働省老健局高齢者支援課 主催
- ・新任職員研修(オンライン研修)
令和4年5月 福岡県社会福祉協議会
- ・中堅職員研修(オンライン研修)
令和4年6月 福岡県社会福祉協議会
- ・高齢者虐待防止・権利擁護研修
令和4年9月 福岡県社会福祉協議会
- ・メンタルヘルス対策セミナー
令和4年7月 全国健康保険協会 福岡支部
- ・ユニット型施設看護師研修(オンライン研修)
令和4年10月 全国個室ユニット型施設推進協議会
- ・コロナ感染症対策のあり方に関するシンポジウム(オンライン研修)
令和4年10月 福岡県老人福祉施設協議会
- ・シンポジウム「相談員の役割を問う」(オンライン研修)
令和4年10月 福岡県老人福祉施設協議会
- ・キャリアアップ研修「リーダー・主任の役割」(オンライン研修)
令和4年11月 福岡県老人福祉施設協議会
- ・高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修
令和4年11月 福岡県看護協会
- ・感染症対策研修会(オンライン研修)
令和5年1月 福岡県南筑後保健福祉環境事務所
- ・事業主人権・同和問題研修会
令和5年2月 八女地区同和対策雇用促進協議会
- ・特定給食施設等関係職員研修会(オンライン研修)
令和5年2月 福岡県南筑後保健福祉環境事務所
- 職員スキルアップ研修 全職員WEB研修実施
 - ・全員共通必須研修 (ジョブメドレーアカデミー)
令和4年4月 接遇に関する研修
5月 高齢者虐待防止に関する研修①

- 6月 身体拘束の排除の為の取組に関する研修①
- 7月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修①
- 8月 事故発生又は再発防止に関する研修①
- 9月 非常災害時の対応、防犯に関する研修
- 10月 褥瘡予防に関する研修
- 11月 高齢者虐待防止に関する研修②
- 12月 身体拘束の排除の為の取組に関する研修②
ハラスメント防止研修

- 令和5年 1月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修②
- 2月 事故発生又は再発防止に関する研修②
- 3月 緊急時の対応に関する研修

○職員キャリアパスのための資格取得研修

・喀痰吸引等研修 (株) プレゼンスメディカル

- 令和4年 9月～11月 介護福祉士2名 令和5年3月 (認定特定行為業務従事者)
- 令和4年10月～12月 介護福祉士2名 令和5年5月 (認定特定行為業務従事者)
- 令和4年12月～令和5年 1月 介護福祉士1名

【特別養護老人ホーム彌栄苑】【短期入所生活介護】

I. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

- ・ネットワークカメラ 1台増設 日本通信機器株式会社
令和5年 1月10日取得 ￥ 229,900
- ・勤怠テレタイム 1台 リコージャパン株式会社
令和5年 1月20日取得 ￥ 502,260
- ・パラマウント センサー付きベッド5台 シェイプ株式会社
令和5年 1月20日取得 ￥2,161,500
(令和4年度福岡県介護ロボット導入支援事業費補助金交付 ￥1,470,000)

〈ソフトウェア〉

- ・勤怠管理ソフト クロノス Performance リコージャパン株式会社
令和5年 1月17日取得 ￥1,252,900
(令和元年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金交付 ￥ 569,500)

(2) 地域との交流

- ・斗和保育園・・・クリスマス会 訪問

(3) 新型コロナウイルス感染症について

令和4年8月13日～8月24日までに職員6名・利用者様33名の合計39名が陽性となり
集団感染となりました。福岡県南筑後保健福祉環境事務所に利用者様の入院要請をしたところ、
近隣の病院がすでにひっ迫状態で対応が難しいとのことで、やむなく施設にて療養して頂きました

た。施設内療養中は職員の確保も難しいなか人数の少ない夜勤帯では、さらに職員1名を増員しなければなりません。最後に発症された方が10日間を過ぎて状態が安定したため、令和4年9月3日をもって収束となりました。これについては、令和4年11月1日に「緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助金」で¥5,670,000を申請し、令和5年3月31日に福岡県より「交付決定及び額の確定通知書」が到達いたしました。入金につきましては、次年度交付される予定となっております。

II. 処 遇

(1) 相談支援について

①収入の確保

- ・98%を目標としていた入所稼働率は98.6%でした。月間入院者数は平均3.4人で、年間の部屋稼働率は、平均91.6%でした。令和4年度新規入所者は、男性2名、女性17名で平均要介護度は3.6でした。8月に新型コロナウイルス感染症で集団感染になりましたが、前年度より風評被害が少なく稼働率は達成できました。
- ・短期入所生活介護（ショートステイ）の稼働率は平均63.9%で、前年度よりアップしましたが目標の75.0%を達成できませんでした。ショートステイは、御家族の介護負担軽減を主目的とする事業であることから今後も積極的に新規利用の受け入れを行います。また、1階にある個室の利用を希望される方が少ないため、積極的に受け入れられるよう努力します。

②各種加算

- ・栄養マネジメント加算
- ・経口維持加算（対象者）
- ・療養食加算（対象者）
- ・日常生活継続支援加算
- ・夜勤職員配置加算
- ・看護体制加算
- ・科学的介護加算
- ・褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ
- ・安全対策体制加算

③地域に向けての発信

- ・ホームページサイトの訪問数が301件でホームページ閲覧数が773件でした。

(2) 処遇計画（ケアプラン）について

- ・施設の理念を目標に、利用者様の個性を尊重し、利用者様・職員共に優しさに溢れる暮らしの場の中で心地よい支援の提供に努めました。
- ・利用者様に対して職員の担当制を推進しケアプランに基づいた利用者様一人一人にあった介護サービスの提供に努めました。
- ・利用者様・御家族から信頼され満足していただけるサービスの提供に努めました。

(3) OJT活動について

- ・令和4年度は、学卒新人が1名入職しました。指導システム・指導マニュアルは職員全員への周知徹底を図り、統一した指導を行うよう努めました。
- ・向上委員会により指導職員の質の向上・意識向上に努めました。
- ・新人職員には、定期的にオリエンテーションを行い「出来る」「出来ない」を明確化し、目標に向かって介護職員としての意識の向上に結びました。

(4) サービスの質・マナーの向上

- ・支援技術の向上や援助・マナーに関する知識・質の向上を図るため研修計画に則り研修を行いました。研修で得た知識は全職員で共有し実施していきました。

(5) 生活支援サービスの充実

- ・利用者様・御家族・多職種で話し合い作成したサービス計画に基づき、利用者様一人一人にあった生活支援に努めました。
- ・現有能力を大切にして自立した生活への支援を心掛けると共に、心身の状態観察に努め変化に応じて支援方法の変更・工夫を行っていきました。
- ・利用者様の意向を尊重しながらの支援に努めました。

食 事

- ・安定した味付けやソフト食（嚥下対応食）を取り入れることにより衛生的で安心・安全な食事提供ができました。
- ・栄養、疾病、身体状況に配慮した食事形態を提供しました。
 - 主食・・・常食、二炊き、粥、ミキサー粥
 - 副食・・・常食、軟菜、やわらか刻み、嚥下対応
 - 汁物・・・常食、トロミ、嚥下対応
- ・利用者様の楽しみのひとつであり喜びであることを認識し、委託業者と連携を図りながら季節感のある食事や行事食の提供を行いました。
- ・嗜好調査を実施し、メインの選択（肉料理・魚料理）ができる機会を設けていきました。

入 浴

- ・プライバシーの確保に努めながら、くつろげる雰囲気の中でゆっくり入浴していただけるよう支援を行いました。
- ・利用者様の状態に合わせて一般浴・中間浴・特浴を用意し、安心・安全な入浴を行いました。
- ・週に2回の入浴を実施し、体調不良時には清拭を行って清潔保持に努めました。

排 泄

- ・定時の排泄介助と共に、利用者様の排泄サイクルに合わせた随時の排泄介助を行いました。
- ・排泄チェックを行い、利用者様一人一人の排泄サイクルの把握に努め、利用者様一人一人に合ったパンツ・オムツ・パッドの検討を行いました。
- ・排泄委員会を中心に毎月1回オムツ業者を招いて研修を行い、より個別ケアに向けた活動を実施しました。

機能訓練

- ・毎月2回、外部の理学療法士に来苑していただき10名程度の利用者様にリハビリを実施していただきました。

(6) 健康維持

- ・利用者様の心身の状態を的確に把握し、嘱託医師や協力病院との連携を密にし、適切に対応しました。
- ・年に1回、定期健康診断を行い利用者様の健康管理に努めました。
- ・褥瘡の早期発見・早期治療のために、必要な利用者様にはその方にあったエアーマットを導入したり栄養補助食品を提供したりして予防に努めました。
- ・感染症に対する予防・対策については、看護師を中心に勉強会を実施しました。
- ・サービス計画に基づき、利用者様の心身の状況に応じて日常生活を営むために必要な機能を維持できるように努めました。
- ・介護職員による週2回のゼロプロ式口腔ケアの継続により誤嚥性肺炎の予防に努めました。

(7) 教養・娯楽

・新型コロナウイルス感染症の影響により、以前のような外出行事や慰問を迎え入れての室内行事はできませんでしたが、笑顔と楽しみのある生活が送れるように四季折々の行事を大切に、利用者様一人一人が、それぞれの状態に応じて参加意識を持つことができる活動を工夫しました。

(8) 御家族との連携

- ・ガラス越しでの面会や感染予防を行い短時間での対面による面会を行いました。
- ・利用者様の状態報告や体調不良時の連絡等を面会制限以前よりこまめに行い、御家族との信頼関係が深まるよう努めました。

(9) 環境整備

- ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）活動を通じて、安全・快適に生活ができるよう施設の環境づくりに努めるとともにより一層の苑内消毒の強化に努めました。
- ・施設内の設備や福祉用具は定期的に点検や修理を行い、利用者様の生活に支障がないように努めました。

【彌栄苑デイサービスセンター】

I. 事業所の概要

- (1) 定員 20名
- (2) 営業日 月曜日～土曜日
- (3) サービス提供時間
通所介護 9:40～17:45
総合事業 9:40～15:30
- (4) 加算
〈通所介護〉 ・個別機能訓練加算 ・科学的介護推進体制加算
〈総合事業〉 ・運動器機能向上加算 ・科学的介護推進体制加算

II. 事業所の沿革

- (1) 設置・設備資金借入金 独立行政法人福祉医療機構
令和4年 5月10日 第32次借入金元金・利息償還実施 [¥1,802,240]
令和4年11月10日 第33次借入金 利息償還実施 [¥ 28,160]

(2) 固定資産取得

〈器具备品費〉

- ・勤怠テレタイム 1台 リコージャパン株式会社
令和5年 1月20日取得 ¥ 154,660

(3) 地域との交流

〈広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業〉

介護福祉士（シナプソロジーインストラクター） 2名（登録職員）

派遣場所 健康教室 いこっと

- 実施日 令和4年 4月13日 令和4年 4月27日
令和4年 5月11日 令和4年 5月25日

令和4年 6月 8日	令和4年 6月22日
令和4年 7月13日	令和4年 7月27日
令和4年 9月14日	令和4年 9月28日
令和4年10月12日	
令和4年12月14日	令和4年12月28日
令和5年 1月11日	令和5年 1月25日
令和5年 2月 8日	令和5年 2月22日
令和5年 3月 8日	令和5年 3月22日

〈**広川町老人クラブ サロン活動**における交流会に参加（シナプソロジーの実施）〉

実施日	鬼の淵公民館	令和4年 5月15日	
	吉常公民館	令和4年 5月24日	
	一條公民館	令和4年 6月10日	令和4年10月20日
	川瀬公民館	令和4年 6月20日	令和5年 3月13日
	高間公民館	令和4年 9月22日	
	増永公民館	令和4年11月15日	
	太田公民館	令和4年11月22日	令和5年 1月18日
		令和5年 3月15日	
	清楽公民館	令和4年11月28日	
	古賀公民館	令和4年12月 8日	
	久泉公民館	令和5年 2月27日	

(4) 新型コロナウイルス感染症での影響について

令和4年8月25日に職員1名が新型コロナウイルスに感染したため、8月26日～27日まで大事をとってサービスを一時停止いたしました。さらに清掃、消毒を徹底したうえで、8月29日よりサービスを再開いたしました。

(5) 収入の確保

令和4年度の平均稼働率は、54.6%でした。新規の利用者様は月に1名～2名はいらっしゃいますが入院によりサービスを中止される方もあり稼働率としては、今後に課題の残る結果となりました。

Ⅲ. 日 課

(1) 送 迎

可能な限り、御家族や利用者様の希望に沿った時間に送迎ができるように配車等の計画を立てました。感染症予防として職員は、マスク着用の徹底、車内はパーテーションの設置をしました。また利用者様には、体温測定、手指消毒を行ってから乗車して頂きました。来苑されたら再び手指消毒とうがいをして頂いています。

(2) 入 浴

入浴前にバイタルチェックを実施して特変の無い場合は、利用者様の着脱を見守りながら一部介助を行いました。入浴のための一連動作は、利用者様の残存機能を活用したうえで、ご自身で出来る部分の洗身、洗髪をして頂きました。また、入浴時に皮膚観察を行い、皮膚の異常があれば御家族に報告を行いました。

(3) 排 泄

尿意・便意の訴えの無い利用者様には、排泄感覚を取り戻すことができるようトイレへの誘導の声掛けと排泄間隔の把握に努めました。

(4) 食 事

昼食を配膳する前にテーブルの消毒を行い、利用者様には手指消毒をして頂いています。

口腔機能の維持を図るため、食事前に耳下腺マッサージやパタカラ体操を実施しました。

また昼食内容に関しては嗜好調査を行い、結果を管理栄養士に報告して利用者様の嚥下状態に応じた食事形態の変更等を行いました。食事の感想や御意見等を給食委員会で報告し給食委託会社より改善を図っていただきました。

15時にはおやつを提供していますが、感染症予防のため手作りのおやつ作りは中止しました。今年度は新たなサービスとして、一人暮らしの利用者様、御家族から夕食の希望があった方への夕食提供を行いました。

(5) レクリエーション

午前中は個人で出来るレクリエーション（作品作り、計算問題、間違い探し、漢字の書き取り等）に取り組んで頂きました。午後からは集団で出来るゲーム（玉入れ、ボーリング、ビンゴ、トランプ等）に取り組んで頂きました。

(6) 個別機能訓練

午前中はリズム体操や上下肢運動に取り組んで頂きました。午後からは、リハビリ室内のプーリーやペダル漕ぎ、バイオステップ、ボール体操、ゴム運動、平行棒訓練等に取り組んで頂きました。また、施設内の歩行訓練や階段昇降等も本人の体調等を観察しながら取り組んで頂きました。取り組んで頂いた結果については、毎月1回、握力や歩行状態の確認を行っています。

(7) シナプソロジー

個別や集団でのシナプソロジーを行い、脳活性化の刺激を受けていただきました。戸惑いや混乱した時には利用者様の笑顔が見られました。利用者様同士での触れ合いとして実施できました。

(8) 年間行事

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止宣言や緊急事態宣言の期間中は、自粛するために苑内のレクリエーションがほとんどでしたが、令和5年3月より近隣の花見は車窓見学として実施しました。

【ユニット型特別養護老人ホーム】

I. 事業所の沿革

(1) 設置・設備資金借入金

独立行政法人福祉医療機構

令和4年 4月11日～令和5年 3月10日

第105次～第116次借入金元金・利息償還実施

¥14,511,018

(2) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

・勤怠テレタイム 1台

リコージャパン株式会社

令和5年 1月20日取得 ¥

245,080

(3) 実習生受け入れ

・福岡県立筑水高等学校 令和4年 6月 6日 ～ 7月 8日 2名

- ・福岡県立筑水高等学校 令和4年11月28日～12月9日 2名
- ・久留米大学医学部 令和4年9月14日～9月16日 4名

(4) 地域との交流

新型コロナウイルス感染症拡大防止により全て中止となりました。

II. 処 遇

(1) 相談支援について

①収入の確保

・95%を目標としていた令和4年度の平均入居稼働率は97.3%でした。月間入院数は平均2人でした。令和4年度新規入居者数は、男性2名、女性5名で平均要介護度は3.8でした。待機者を確保するため、ご家族様からの紹介や老人保健施設へのパンフレット配布、ホームページにおいて活動の様子などを掲載し広報活動を行いました。

②各種加算

- ・個別機能訓練加算
- ・看護体制加算
- ・褥瘡マネジメント加算（対象者）
- ・口腔衛生管理加算
- ・排泄支援加算
- ・療養食加算（対象者）
- ・科学的介護推進体制加算
- ・安全対策体制加算（新規加算）

(2) 生活支援について

入 浴

・利用者様の体調や希望に沿うように湯温や時間等を配慮して支援を行いました。

食 事

・ユニットごとの炊飯や温め、配膳を行うことでより温かい食事を召し上がって頂いています。食事の内容に対して意見や要望が出された場合は、管理栄養士と連携して随時、もしくは給食会議等で相談・改善を行いました。利用者様が給食以外の食物を希望されることもあり、出前を取ったりお誕生日には好物でお祝いしたりと工夫を凝らし、ユニット毎に特徴のある活動を行いました。その活動の際に利用者様の中には、準備や配膳、後片付けへの参加が定着化している方がいます

(3) 暮らしの継続

・ユニット最大の目標である「暮らしの継続」については、職員全体で意識しています。入院等で基本的な生活のリズムが失われている状況であっても聞き取り項目を設けて、できる限り本来の御本人のライフスタイルに近づけるよう配慮しました。利用者様から相談を受けた場合は、その都度改善に向けた対応を行っています。御家族には、コロナ禍のなかで面会制限もあり御迷惑をおかけしましたが、職員一人ひとりがウイルスを持ち込まないようにと感染予防の徹底に努めました。ユニット型特別養護老人ホームでは、新型コロナウイルス感染症の陽性になられた入居者は、1名のみで感染拡大には至りませんでした。

(4) 健康管理

・新型コロナウイルス感染症対策として、ユニット内では職員一人一人が感染しないように手指消毒や器具消毒の徹底に努めました。

・医療面においては看護師と連携してより専門的な視点で病状の把握、管理を行いました。

嘱託医、受診先の医師への状況報告や投薬の管理、緊急時の対応、健康診断なども含めて把握をし、必要な場合は、御家族への報告を行いました。

・看取りについては、嘱託医よりターミナル期が近づいていることを御家族にお伝えし、御家族と

寄り添うことで思いを知り、寄り良い看取りについて沢山考え学ぶことができました。

(5) 機能訓練

- ・毎月2回、外部の理学療法士に来院していただき、各ユニットの利用者様に合わせたリハビリを実施していただきました。
- ・脳活性を目標に生活の中に取り入れても違和感のない計算問題やパズル等に全体で取り組むことができました。

(6) 行事・クラブ活動

- ・利用者様の状態やパーソナリティによってユニットごとのカラーが出やすいので基本的にユニットごとに様々な行事を行いました。新型コロナウイルス感染症が流行している中でも季節感を感じて頂けるような行事を行うために創意工夫を凝らしましたが、利用者様に満足していただくことができましたかどうかの反省があがりました。
- ・ユニット全体では、毎月第三木曜日に地域交流スペースに集まりシナプソロジーを実施しました。

(7) 職員について

- ・ユニットのリーダーは、ユニットごとのカラーを出しながらも利用者様のニーズに応えるべくユニット職員と何度も話し合いをして、利用者様にとってより良い生活の場になるよう工夫をしました。24時間シートに基づき利用者様の希望に寄り添いながら施設の理念である和やか、健やか、穏やかな暮らしの場を笑顔と優しさで支援しています。
- ・利用者様・御家族と職員が連携を取り、各ユニットの雰囲気大切にしながらサービスの提供に努めました。

Ⅲ. 各ユニットより

(花ユニット)

新型コロナウイルス感染症での外出規制が少し落ち着いてきたころに外出する場を設けることができました。職員の離職や異動があり隣の鳥ユニットとの協力・連携が重要な1年でした。職員間の報告・連絡・相談により情報の共有や意見交換を行いながら利用者様にあった援助を提供しました。

(鳥ユニット)

新型コロナウイルス感染が拡大する中で外出等は出来ませんでした。季節の行事等を取り入れて苑内での楽しみを感じてもらえることが出来ました。利用者様のニーズに応じた十分なケアが出来ていないのではと反省をし、居室内でのダンスやベッドの配置換えを行ったりして利用者様に合った安全な環境づくりに努めました。

(風ユニット)

新型コロナウイルス感染の流行に伴い外出行事は困難でしたが、ユニット内で出来る行事を行ったことで楽しみの場を提供できました。職員異動がありましたが利用者様の情報共有は図ることができました。隣の月ユニットと協力・連携を行い、利用者様にとって安心で安全な生活の場を提供することが出来ました。

(月ユニット)

四季折々の行事を考えて実施した結果、利用者様が体操や機能訓練をすることに興味を示され身体を動かすことに対して喜ばれられました。利用者様の筋力低下を防止するために職員間で連携、協力し安心して過ごせる環境づくりに努めました。